

岐阜県厚生農業協同組合連合会 東濃中部医療センター-土岐市立総合病院

病院の概要

開設時期：昭和63年5月1日
開設者：土岐市長
院長名：塚本 英人
病床数：350床
標榜科：内科、神経内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、リウマチ・アレルギー科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、精神科

医師数：21名
指導医師数：14名
外来患者数：260.1名/日
入院患者数：99.1名/日
所在地：土岐市土岐津町土岐口703-24
URL：http://www.tokisou.gfkosei.or.jp/



病院の特徴

当院は昭和63年5月、旧市民病院と旧中央病院を集約し、岐阜県東濃地域の中核病院を目指して発足し、令和2年4月より、JA 岐阜厚生連の指定管理となりました。救急医療・予防医療・在宅医療と多段階の医療サービスを提供しながら、総合的医療機関として機能しています。二次医療圏は土岐市（約6万人）と瑞浪市（約4万人）で構成され、瑞浪市にある東濃厚生病院と輪番制で二次救急を行っています。夜間、休日の救急体制は、二次救急当番日では医師3、4人体制を取っており、多種多様な救急疾患に対する確かな対応ができるシステムを確立しています。令和8年2月に、同じ「東濃中部医療センター」である東濃厚生病院と統合し、約400床規模の新病院建築を進めております。

病院長メッセージ



塚本英人

当院は、土岐市の緑豊かな丘陵地に建つ350床の地域中核病院です。令和2年4月1日より、JA 岐阜厚生連の指定管理により、「東濃中部医療センター土岐市立総合病院」となりました。急性期から在宅まで、プライマリ・ケアから専門治療、高度医療まで幅広い診療を行っています。救急時間帯でも昼間と同様にコメディカルスタッフが常駐し、高度医療機器を駆使し、的確な診断・治療を行っています。職員同士の垣根は低く、どんなことでも相談し合うことができます。高齢化社会を迎え、患者様の病態も複雑化し、治療も複数の診療科にまたがるが増えてきました。情報の共有化と経験豊かなスタッフが協力して、質の高いチーム医療の実践に努めています。

指導医メッセージ

当院は、土岐・瑞浪地域10万人規模の二次医療圏を担う中核病院です。研修プログラムにおいては、定員が毎年5人程度であるため、研修医のローテーションが重複しないよう調整することで、さまざまな症例・手技に接する機会が等しくあります。1年目は必修科目と救急疾患の診療の習熟に努め、2年目は将来の進路を見据えて、選択科目の中から各自が診療科を選択します。救急外来では、地域に密着した病院として common disease から rare な疾患まで多岐にわたる症例を経験することができます。指導医、コメディカルとの垣根も低く、相談したり話し合ったりする環境があります。当院は、一人ひとりに目の行き届く研修を目指しています。

研修医メッセージ

当院を研修先に選んだ理由は、中規模病院であり地域に根付いていることから患者さんとの距離が近く、また各科の垣根も低い点から相談しやすい等の点から当院を選びました。特に救急外来においては、大規模病院や大学病院では重症例ばかりの所もあるようですが、当院には風邪、打撲から心筋梗塞・脳出血等多種にわたる疾患の方が来られます。私は、研修医のうちに風邪などの common disease に対処できることも重要と考えたので、この病院を選びました。当院で経験できない症例を同じ「東濃中部医療センター」である東濃厚生病院で経験することもできます。

研修再開を希望される皆さんへ

当院では、途中再開者の皆さんに広く門戸を開いており、研修再開を希望される方は、当院へお問合せください。

研修スケジュール

それぞれの希望に合ったローテーションが組めます。各科1人のローテを基本とし、症例や手技を思う存分に学べます。

	1~4週	5~8週	9~12週	11~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年次	内科				救急				外科		小児科	選択科	
2年次	選択科		地域医療	選択科	産婦人科	選択科	精神科	選択科					

研修協力病院・施設

岐阜県立多治見病院（産婦人科）	東濃厚生病院	春日井市民病院（産婦人科）
土岐市老人保健施設やすらぎ	市立恵那病院（地域医療）	名古屋大学医学部附属病院（産婦人科）
岐阜県赤十字血液センター	国民健康保険上矢作病院（地域医療）	医療法人社団聖泉会聖十字病院（精神科）
医療法人仁誠会大湫病院（精神科）	医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院	国民健康保険坂下診療所（地域医療）

研修プログラムの目標

初期臨床研修を将来医療を担うものにとって最も重要な時期の一つとして位置付けております。プライマリ・ケアを含めた医療に関する考え方、基本的知識及び技術を臨床の場において広く修得するのみではなく、医師としてふさわしい人格、責任及び協調性、更に高い倫理観を身につけると共に患者様の立場に立った全人的医療を行なうことができる事を目的としています。

研修プログラムの特徴

初年度は内科系24週以上、救急を12週以上、外科・小児科については4週以上、2年次は地域医療、精神科、産婦人科を4週以上行います。残りの期間はそれぞれ希望により選択します。各科の横の繋がりの連携も良く、横断的・多角的な研修が可能です。救急外来、当直は2年間を通じて研修し、担当した症例はローテーションに拘わらず主治医と共に受け持ちます。当直は月4~5回程度です。

募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者
募集人員：5名（予定）
身分：常勤嘱託職員
給与：与：年収680~750万円程度（基本給・賞与・諸手当を含む）
住居：等：有（世帯用・単身用共）
保険：等：有（健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険）

連絡先

電話番号：0572-55-2111
fax：0572-54-8488
E-mail：toki.kensyu@gfkosei.or.jp

交通案内



JR中央線「名古屋」駅から普通で約50分、快速で約40分
JR中央線「土岐市」駅から路線バスで約20分
「病院前」又は「病院口」で下車